



プロスポーツ 号外版

愛知・名古屋アジア アジアパラ競技大会協賛競輪

記録に挑め、勝負に挑め。



第2回愛知・名古屋アジア アジアパラ競技大会協賛競輪GIII

2026 4/23.24.25.26
THU FRI SAT SUN

名古屋競輪場

2026 (木) (日)
04.23~26
第2回 愛知・名古屋アジア
アジアパラ
競技大会協賛競輪(GIII)

関東勢がリードも上位陣は拮抗



木村 皆斗 【茨城】119期

名古屋競輪場で「第2回愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会協賛競輪(GIII)」が、4月23日にスタートする。ダービー直前だけに、S級S班不在で力の突出した選手もいない4日間のシリーズは、初日から激戦必至で目が離せない。地元からは一昨年にヤンググランプリを優勝した瀬瀬洸翔にGIII制覇の期待がかかる。嵯峨昇喜郎、木村皆斗、堀江省吾、中釜章成、西田優大ら、各地区の次世代を担う機動タイプの参戦で楽しみは尽きない。シリーズの流れをつかみ、GIIIの決勝を制するのは果たして誰か。

3月の前橋で今年3度目の優勝を遂げた木村皆斗をはじめ、堀江省吾、山岸佳太、横山尚則、柿澤大貴、河村雅章らがそろい、層の厚い関東勢がシリーズを有利に進められそうだ。優勝した前橋での木村は初日特選からすべて先行策で3連勝と、内容の濃い走り。続く豊橋記念でも一、二次予選での連勝を含む3勝をマークして9車立てにも対応した。持ち前の先行力にさらに磨きがかかり、ここもケレン味ない力勝負で初のGIII制覇を目論む。堀江は1月のいわき平記念で決勝に進出し、その後もレベルの高い走りは変わらない。また、木村、堀江といった機動タイプがいることで、山岸にとっては、メンバー次第で大きなチャンスが生まれそうだ。通算3度のGIII優勝の実績を誇る山岸は、今年3月までに2度の優勝。その後、落車に見舞われたが、4月函館で復帰しているだけに影響はそれほどないだろう。

中四国勢は、西田優大が主軸になり、木村隆弘、真鍋智寛、室井蓮太郎らとの関係を模索しよう。



西田 優大 【広島】123期

昨年7月の小松島で記念を初制覇した西田は、その後ビッグ戦線でもまれながら様々な課題と向き合っている。そのなかで3月末には小松島以来となる優勝。大舞台でこれからの中四国勢の一翼を担う存在だけに、今シリーズもダイナミックな仕掛けで同地区をけん引する。2月にS級初優勝を遂げた室井、ハマった時の魅力は十分の真鍋らもいて、どんなラインができるのかにも注目したい。

スピードはトップクラスにも引けを取らない中釜章成が、他地区にとっては脅威。近況はなかなかリズムに乗っていないものの、一級品のダッシュで別線を置き去りにするシーンがあっという間。ウィナーズカップの最終日に中釜のまくりを交わして、ビッグで久々に白星を挙げた石塚輪太郎。様々な役割を求められ、その対応に注力している。今シリーズも展開が向けば、優勝争いに加われる。

地元の瀬瀬洸翔に高橋和也、坂口晃輔、栗山和樹ら、中部地区は総力を結集しての4日間になる。今年のGIIIでは二次予選が壁になっている瀬瀬だが、昨年10月の豊橋GIIIでは決勝にコマを進めていて軽視はできない。番手での仕事も的確な坂口、栗山、川口聖二らとのラインがうまくかみ合えば、瀬瀬にもチャンスは巡ってくる。



中釜 章成 【大阪】113期

北日本勢は、4月高知での落車は気がかりながら、嵯峨昇喜郎が3月の豊橋記念で準決に進出していて侮れない。永澤剛も差し脚が戻ってくればV圏内だ。

近況、まだ調子が戻り切っていない岩谷拓磨だが、スピードは目を見張るものがあり、嶋田誠也らと関係から浮上を狙う。

※2026年4月16日現在

第2回愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会協賛競輪 出場予定選手

級別	氏名	登録地	期別	級別	氏名	登録地	期別
S1	永澤剛	青森	91期	S2	近藤隆司	千葉	90期
S1	新山将史	青森	98期	S2	山本紳貴	千葉	107期
S1	木村弘	青森	100期	S2	山田駿斗	千葉	123期
S1	嵯峨昇喜郎	青森	113期	S2	村上直久	神奈川	95期
S1	櫻井正孝	宮城	100期	S2	堀内俊介	神奈川	107期
S1	保科千春	宮城	100期	S2	川越勇星	神奈川	111期
S1	横山尚則	茨城	100期	S2	出澤拓也	神奈川	111期
S1	山岸佳太	茨城	107期	S2	中井達郎	静岡	74期
S1	木村皆斗	茨城	119期	S2	丸山啓一	静岡	74期
S1	朝倉佳弘	東京	90期	S2	萩原孝之	静岡	80期
S1	柿澤大貴	長野	97期	S2	伊藤正樹	愛知	71期
S1	福田知也	神奈川	88期	S2	山内卓也	愛知	77期
S1	瀬瀬洸翔	愛知	121期	S2	吉田敏洋	愛知	85期
S1	長尾拳太	岐阜	103期	S2	高橋和也	愛知	91期
S1	坂口晃輔	三重	95期	S2	伊藤勝太	愛知	95期
S1	石塚輪太郎	和歌山	105期	S2	林敏宏	愛知	117期
S1	松田治之	大阪	73期	S2	佐藤章太	愛知	119期
S1	中釜章成	大阪	113期	S2	疋田力也	愛知	119期
S1	西田優大	広島	123期	S2	平野想真	愛知	123期
S1	木村隆弘	徳島	91期	S2	川口聖二	岐阜	103期
S1	真鍋智寛	愛媛	121期	S2	栗山和樹	岐阜	125期
S1	嶋田誠也	福岡	109期	S2	鈴木幸紀	三重	78期
S1	林慶次郎	福岡	111期	S2	渡辺十夢	福井	85期
S1	岩谷拓磨	福岡	115期	S2	鷲田幸司	福井	92期
S1	瀬戸晋作	長崎	107期	S2	金山栄治	滋賀	72期
S1	徳永哲人	熊本	100期	S2	小谷実	京都	93期
S1	上田亮弥	熊本	113期	S2	徳田匠	京都	119期
S2	小原丈一郎	青森	115期	S2	稲毛健太	和歌山	97期
S2	大川剛	青森	121期	S2	大石崇晴	大阪	109期
S2	藤根俊貴	岩手	113期	S2	南部翔大	大阪	125期
S2	萩原尚人	宮城	89期	S2	久田翔	大阪	125期
S2	佐藤雅春	宮城	94期	S2	高津晃治	岡山	87期
S2	上遠野拓馬	宮城	119期	S2	小玉拓真	岡山	98期
S2	菅野航基	宮城	119期	S2	山本直	岡山	101期
S2	金成和幸	福島	88期	S2	城戸俊潔	岡山	115期
S2	小野大介	福島	91期	S2	大嶺大介	岡山	119期
S2	金澤幸司	福島	91期	S2	増原正人	広島	98期
S2	比佐宝太	福島	121期	S2	和田誠寿	広島	103期
S2	早坂秀悟	茨城	90期	S2	福島武士	香川	96期
S2	杉本正隆	茨城	96期	S2	遠藤拓巳	香川	125期
S2	小畑勝広	茨城	115期	S2	室井章二	徳島	65期
S2	櫻井学	群馬	84期	S2	室井蓮太郎	徳島	121期
S2	浮島知稀	群馬	123期	S2	吉武信太郎	愛媛	107期
S2	大矢将大	埼玉	81期	S2	和泉尚吾	愛媛	117期
S2	片折亮太	埼玉	92期	S2	良永浩一	福岡	86期
S2	金子哲大	埼玉	95期	S2	中園和剛	福岡	89期
S2	野中祐志	埼玉	98期	S2	松尾透	福岡	96期
S2	一戸康宏	埼玉	101期	S2	竹元健竜	福岡	115期
S2	河村雅章	東京	92期	S2	平尾一晃	長崎	111期
S2	鈴木輝大	東京	113期	S2	菅原晃	大分	85期
S2	志村龍己	山梨	98期	S2	佐方良行	熊本	97期
S2	堀江省吾	長野	119期	S2	宮本隼輔	熊本	113期
S2	藤原憲征	新潟	85期	S2	宮崎大空	熊本	115期
S2	牧田悠生	新潟	123期	S2	河崎正晴	熊本	121期

